

はせがわ通信

平成二十五年
第五十一号

まちと現場を明ると照らす

発行:(株)長谷川製作所

TEL 049-233-1021

www.e-hasegawa.co.jp

春の風物詩



春の風物詩といえば春一番、お花見、卒業式や入学式などがあります。姉の住む兵庫県ではイカナゴの釘煮もその代表格だそうです。しかしながら、私の推す風物詩は何と言っても「花粉症」です。



私は花粉のアレルギー体質であり、毎年今頃はスギ花粉に悩まされます。鼻水やくしゃみが止まらないのは日常茶飯事で、ひどい日は頭痛や発熱で会社を休むことも数多くありました。しかし、今年はカミさんの勧めもあり、早期にレーザー治療を行ってきました。

予備検診とレーザー治療に一日づつ通院し、その後は定期検診のみ。費用は保険適用で7千円程度でした。

さて気になる結果ですが、正直言っても快適です。アレルギーが完治するのではないので薬は飲み続けますが、その反応程度が大幅に改善されています。今年の花粉量は例年の6倍ですが、私の反応は昨年の半分以下。

こんなことならもっと早めに治療すればよかったと思うつつ、最後に一押ししてくれたカミさんに感謝です。

担当 長谷川正



長崎を訪れて

3月に長崎を訪れました。高校の修学旅行以来でしたが、街中は路面電車が走り異国情緒豊かな街並みが印象でした。

長崎の食のイメージというと、ちゃんぽんに代表されます。地元の方にその歴史を尋ねると、お金のない中国人留学生向けの料理であり、グラバー園近くの中華料理店「四海樓」で考案されたものだそうです。

具材は料理店では捨ててしまう部分、いかげそや1枚目のキャベツ、魚介、野菜の端切れなどを一緒に混ぜて炒めた、安くて、栄養たっぷりの「長崎ちゃんぽん」ができました。

名前の由来はインドネシア語の「ちゃんぷる(混ぜる)」が語源というのが一番有力です。そういえば色々なお酒を飲むことをちゃんぽんといいますよね。

長崎で一番おすすめめちゃんぽんの店は?と聞くと帰ってきた答えがなんと「リンガーハット」。地元の方も認める本場の長崎ちゃんぽんが近所で食べられるなんて日本のチェーン店恐るべしですね。

担当 長谷川雄大



春の訪れ

春といえば卒業・入学シーズンですね。寂しい別れもあれば新しい人との出会いもあります。

毎年、年末の大掃除や衣替えの時に必ず作業が止まる原因...それは部屋の奥底に眠っている卒業アルバムを見つけ、見入ってしまうのです。

あの頃はあんなに、こうだったと思い返している、結局何も出来ずに時間だけが過ぎてしまうものです。

受け取った当時は、良く見もしなかった物ですが、年をとったせいでしょうか。学生時代を懐かしく振り返ってしまいます。皆様はどんな学生でしたか? たまに振り返ってみるもの良いものですよ。

担当 石黒



サン・ジオルディの日...

スペインには古くから伝わる本と花の祭典があります。サン・ジオルディといい

4月23日に恋人や友人へ薔薇の花や本を贈り合うのです。

数年前から、この時期になると古くからの友人と本のプレゼント交換をしています。昨年は、私が贈った本と同じ本をプレゼントされて、お互いに大笑いしてしまいました。その本とは、「置かれた場所で咲きなさい」という本です。悩み事の多い昨今、著者の一言一言に重みを感じて、何度も読み返したくなる本です。今日より若くなる日はありません。だから今日という日を私の一番若い日として輝いて...などの言葉に勇気づけられて過ごしています。

今年、大切な方へ、本を贈ってみませんか?

担当 米田



お知らせ掲示板

JECA FAIR 2013(5/29~5/31 東京ビッグサイト)への出展が決まりました。LED作業灯を中心に展示予定です。足をお運びの際は、是非弊社ブースにもお立ち寄り下さい。

** ECA FAIR 2013
HPアドレス **
<http://jecafair.jp/>

第52号は、4月20日発行です

はせがわ・すぴりっと

今年度スローガン

私が拓く会社の未来